

令和 4 年度
「運営に関する計画」
(中間評価)

大阪市立田島南小学校

令和 4 年 11 月 22 日

(様式 1)
大阪市立田島南小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

田島小学校と生野南小学校の 2 校が統合され、田島中学校の敷地に田島南小学校として開校され、小中一貫校としてスタートした。

スローガン「I' ll get my dream. We' ll support your dream. ～つかめ 自分の夢ささえよう みんなの夢～」のもと 3 つの柱「言語力の育成」「性・生教育」「キャリア教育」を軸に学校づくりが始まる。

小中一貫校準備委員会で計画したことを踏まえ、課題を 1 つ 1 つ解消しながら、新しい学校を作っていく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和 7 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、90%以上にする。
- 令和 7 年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、85%以上にする。
- 毎年度末の校内調査における不登校の児童の割合を、毎年、前年度より減少させる。
- 毎年度末の校内調査における前年度不登校児童の改善の割合を、毎年、増加させる。
- 令和 7 年度末の校内調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。
- 令和 7 年度末の校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、令和 3 年度より 6 % 増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 7 年度末の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に対して、最も肯定的に答える児童の割合を、35%以上にする。
- 令和 7 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を 50%以上にする。
- 規則正しい生活を身に付けている児童の割合の指標として、年度末の校内調査における「(平日) 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を令和 7 年度調査において、85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 7 年度末の校内調査における「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」に対して、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、80%以上にする。
- ゆとりの日については、週 1 回以上設定する。また、学校閉庁日については、夏季休業期間中は 3 日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては 1 日以上設定する。
- 令和 7 年度末の校内調査における「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、75%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校園の年度目標

- 年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。
- 年度末の校内調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、75%以上にする。
- 年度末の校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に答える児童の割合を、前年度より増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を30%以上にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を80%以上にする。

学校園の年度目標

- 規則正しい生活を身に付けている児童の割合の指標として、年度末の校内調査における「（平日）毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を、80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

- 年度末の校内調査における「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」に対して、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、75%以上にする。
- ゆとりの日については、週1回以上設定する。また、学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する。

学校園の年度目標

- 年度末の校内調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に答える児童の割合を、70%以上にする。

(様式 2)

大阪市立田島南小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】	
<p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 85%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、75%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に答える児童の割合を、前年度より増加させる。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>好ましい人間関係や信頼関係を確立する集団を育成する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケート（年 3 回）および相談申告機能を、1 人 1 台学習者用端末を活用して実施する。 ・区役所、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、子ども相談センター等のいずれかの関係諸機関との連携を週 1 回以上行う。 	B
<p>取組内容②【基本的な方向 2、豊かな心の育成】</p> <p>「生きる教育」を関連諸機関との連携し、性と生を考える取組みを推進する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生きる教育」の学習を全学年で実施する。 	B
<p>取組内容③【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>インターネット、SNS 等を適切に利活用することについて主体的に学ぶ取組を行う。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きるチカラまなびサポート事業を活用して、出前授業を実施する。 	—
<p>取組内容④【基本的な方向 2、豊かな心の育成】</p> <p>芸術鑑賞を通して、豊かな情操や感性を養う。</p>	—

指標	
・事後アンケートにおいて、鑑賞行事について肯定的に回答する生徒の割合を 90% 以上にする。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

全市共通目標	
○10 月実施の児童アンケート「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は、83.1%であった。 目標値達成(85%以上)に向け、引き続き、情報を教職員で共有し、きめ細やかな対応を行っていく。	
○10 月末時点で、不登校児童数は、3 名である。個々の状況を把握し、丁寧な対応を行っていく。	
学校園の年度目標	
○10 月実施の児童アンケート「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は、88.0%であった。 目標値 80%以上を 8 ポイント上回っている。引き続き、魅力ある学校づくりに取り組んでいく。	
○10 月実施の児童アンケート「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は、87.1%であった。 目標値 75%以上を 12.1 ポイント上回っている。今後も、切れ目なく、情報モラル教育に取り組んでいく。	
○10 月実施の児童アンケート「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に答える児童の割合は、69.5%であった。 昨年度の 2 つの小学校の平均値は、77%であった。7.5 ポイント下回っており、本校の課題であることを全教職員で共有し、自己肯定感が高まるような支援を行っていく。	
【各取組内容の進捗状況】	
①全校遠足、集会、学級によるみんな遊びなどを通して、少しずつ信頼関係を築いていっている。 いじめアンケートおよび相談申告機能を、1人1台学習者用端末を活用して実施している。 定期的および必要に応じて、関係諸機関との連携を行っている。	
②「生きる教育」の学習を全学年で 9 月に実施した。 教職員夏季研修会で、カリキュラムやエビデンスを全体共有し、その後、学年ごとに打ち合わせを重ねた。 担当教員だけではなく、担任や入り込み教員によるサポート等、協力体制のもと、一歩一歩ではあるが教材の活用法や理念が浸透しつつある。 土曜授業公開日では、277 名の保護者に本実践をご参観いただき、懇談会でも、意見交流ができた。今後も、保護者・地域に根差したカリキュラムを育んでいく。 公開授業・講演会では、福祉・医療・心理・行政、そして教育と、多岐にわたり合計 135 名の方々にご参会いただいた。アンケートには、現代社会における本カリキュラムの必要性が多数コメントされていた。 小中一貫校開校後、初めての取り組みであったにもかかわらず、皆で協力し、スムーズに進めることができた。	

12月中に生きる教育に関する児童用アンケートを実施予定。

- ③9月の発育測定時の保健指導にて、6年生を対象に「チャレンジ！ノーメディアデー」と題したインターネットやスマートフォン等の正しい使用方法について指導を行った。
生きるチカラまなびサポート事業を活用して、出前授業は2月に実施する。
- ④芸術鑑賞は、11月2日に「和太鼓」鑑賞を実施。豊かな情操や感性を養うことができた。
文化祭の展示見学会でも、中学生の作品に感銘を受けていた様子が見られた。
これから行われる文化的行事も丁寧に進め、児童の成長に繋げていく。

今後の改善点

- ①児童の情報共有については、連絡会等で一定進めることができているが、学校のきまりが曖昧な部分があり、学校のきまりを整えていく必要がある。
- ②「生きる」教育で追いかけたい数値は自己肯定感であるが、学校は好きだが自分ことは肯定的にみられない児童が少なくない。そう答えた児童を把握するところからはじめたい。
- ③「生きる教育」で5年生が丁寧に学んでいたようなインターネットやSNSに関わる学習を、他学年に広げたり、系統的なカリキュラムにしていったりするなど全学年が学べる形を目指していく。
低学年と中・高学年、児童の発達段階の違いにより学習端末としてのタブレットの使用頻度に差があり、それに伴い端末の使い方やネットリテラシー等の学習機会に差ができる。9年間の繋がりのある指導を行っていく必要がある。

(様式 2)

大阪市立田島南小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 30%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 80%以上にする。</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○規則正しい生活を身に付けている児童の割合の指標として、年度末の校内調査における「（平日）毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を、80%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>言語活動を充実させ、思考力、判断力、表現力を育成する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロック化による学校支援事業および区の校長戦略支援予算を活用し、漢検を全学年で実施する。 ・ブロック化による学校支援事業を活用し、5 年生でリーディングスキルテストを実施する。 	B
<p>取組内容②【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>「がんばる先生支援（グループ研究 A）」を活用して、対話力を育てる「国語科教育」の推進を行う。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート「相手の気持ちを考えて話を聞くことができる」の肯定的回答の数値を 80%以上にする。 ・「授業中自分の考えをよく発表している」の肯定的回答の数値を 60%以上とする。 	B
<p>取組内容③【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>中学校教員による理数教育を推進する。</p>	B

指標

- ・6年生算数の授業（週3時間）および、小学校5年生理科の授業（週3時間）で中学校の教員との授業づくりを行う。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

全市共通目標

- 10月実施の児童アンケート「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は、40.4%であった。現時点で、目標値を10.4ポイント上回っている。学習ではペアやグループでの話し合いを取り入れ、意見の交流ができるよう正在していることが表れている。
- 小学校学力経年調査は、12月実施。
- 10月実施の児童アンケート「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は、74.1%であった。現時点で、目標値を4.1ポイント上回っている。
- 10月実施の児童アンケート「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合は、71.8%であり、目標値を8.2ポイント下回っている。グランド工事などで制限の多い環境であったが、11月下旬からグランドが全面使用可能になる。体力の向上に力を入れていく。

学校園の年度目標

- 10月実施の児童アンケート「（平日）毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合は、86.6%であった。現時点で、目標値を6.6ポイント上回っている。

【各取組内容の進捗状況】

- ①言語活動の充実の取り組みとして、ペアやグループ活動といった場を設定し、どの教科でも対話や会話を取り入れた展開を工夫している。また、その基盤となるような言葉や文の力をつけさせるため、言葉集めのゲームや作文に取り組んだり、友だちの言葉を共有したりしている。
漢検は、2月に全学年で実施する。5年生のリーディングスキルテストは12月に実施する。
- ②10月実施の児童アンケート「相手の気持ちを考えて聞くことができていますか」の肯定的回答の割合は88.0%であった。現時点で、目標値を8.0ポイント上回っている。
また、「授業中自分の考えをよく発表している」の肯定的回答の割合は、61.3%であった。現時点で、目標値を1.3ポイント上回っている。
聞くことや発表することの基盤となる「ことばの力」を培う方法を、国語科の授業研究で進めており、本年度は「話す・聞く」領域の、特に「話す（情報活用）」領域に全学年で取り組んでいる。
- ③校内の工事によって今年度は学習園がなく、観察できる草木が少なかったため、観察の学習効果が低いと言わざるを得ない。
高学年では、中学校教員による理科（5年生）、算数科（6年生）の授業への入り込みの他、1学期末に数学の教員による発展的な学習を目的とした授業を行うことができた。
今後は、理科の発展的な授業を行う予定である。
今後、中学校での理数科のつまずきの内容を把握し、分析することで、小学校の理数教育

のさらなる推進につなげていく予定である。

今後の改善点

③数学と算数の根本的な違い（数学では基本的に仮分数を帯分数に直さない→算数では仮分数を帯分数に直すことが多いなど）もあり、小中の教員同士が互いに異なる認識であるため、学習指導する前にその都度確認をする必要がある。

大阪市立田島南小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】 全市共通目標（小・中学校） ○年度末の校内調査における「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」に対して、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、75%以上にする。 ○ゆとりの日については、週 1 回以上設定する。また、学校閉庁日については、夏季休業期間中は 3 日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては 1 日以上設定する。 学校園の年度目標 ○年度末の校内調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に答える児童の割合を、70%以上にする。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 8、生涯学習の支援】 学校図書館を拠点に、学校全体で読書環境の整備・充実を行う。 指標 ・昼休み、放課後は、毎日図書館開館するとともに、玄関ホールに図書スペースを設ける。 ・ブックトラックを活用して、学級や校内の図書スペースの本の入れ替えを行い、読書に親しむ環境を作る。	B
取組内容②【基本的な方向 6、教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 1 人 1 台学習者用端末を活用し、家庭学習の推進および表現力を養う。 指標 ・全学級で 1 人 1 台学習者用端末を活用し、デジタルドリルや課題に取り組む。 ・高学年で、1 人 1 台学習者用端末を活用し、プレゼンテーションを行う。	C

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
全市共通目標 ○10 月実施の児童アンケート「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」に対して、「ほぼ毎日」と答える児童の割合は、39.4%であった。現時点では、目標値を 35.6 ポイント下回っており、改善が急務である。 ○ゆとりの日については、設定しているが、教職員の勤務終了状況からまだ徹底できているとは言えない。 学校閉庁日は、夏季休業期間は 3 日実施。冬季休業期間は 2 日設定しており指標を達成している。

学校園の年度目標

○10月実施の児童アンケート「読書は好きですか」に対して肯定的に答える児童の割合は80%であった。現時点で、目標値を10ポイント上回っている。

【各取組内容の進捗状況】

①小中3校から持ち寄った図書の整備と図書館の棚を分類ごとに配置した。

学校司書が週4日勤務し、図書館が常時開放されている。

毎週月曜日には給食の時間に朗読をし、図書への関心を深める取り組みを行っている。

学習に合わせた資料提供や学級文庫を配置し、資料を置けるように整備している。

②家庭学習については、学年によって差がでている状況である。

家庭学習の算数プリントや音読などをTeamsに掲載するなど1人1台学習者用端末を活用した家庭学習に取り組んでいる学年もある。

今後の改善点

○1人1台学習者用端末を継続して使っていくよう改善していくために、全校的な基礎的なタイピング練習(文字入力)に取り組んでいく。また、最適化されたデジタルドリルによる家庭学習や授業での活用を考える必要がある。また、低学年でも活用していくようなカリキュラム、指導が必要であり、早急に改善していきたい。

○表現力を養うという点については、現在のハードウェア、ソフトウェアや活用の実態では、難しい状況になっており、今後の課題である。